

文章題テスト・説明文(1)

月 日

★ つぎの文しようを読んで、後のもんだいに答えましょう。

わたしたちは、毎日の生活の中で、たくさんのごみを出します。また、

ごみにも、もやせるごみやもやせないごみ、かんやペットボトルなどのようにしてなるしげんごみなど、さまざまなものがあります。

今、わたしたちのまわりでは、ごみを少しでもへらそと、さまざまな取り組みが行われています。

たとえば、買い物^(もの)をしたときにふくろをもらわなかつたり、使えるものはすてずに何回も使つたり、ごみをきちんとしゆるいべつに分けたりすることです。これだけでも、ごみをへらすことができるのです。

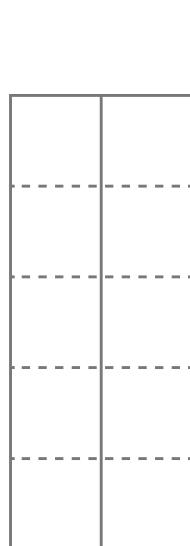
大切なのは、わたくしたちひとりひとりが、ごみのことをしんけんに考え、へらすためにできることからはじめることがあります。

(中林英純「くらしとごみ」より)

- ① 何のための取り組みですか。六字で書きましょう。

- ② 取り組みの内ようをつぎのようにまとめました。□に当てはまることばを、十字まで書きましょう。

- 買い物をしたときふくろをもらわない。
- 使えるものは□。
- ごみをきちんとしゆるいべつに分ける。



- 3 線2「ごみをきちんとしゆるいべつに分けたりする」とあります。ごみのしゆるいを、文しよう中から三つ書きこみましょう。

- 4 ごみをへらすために大切なこととして、当てはまらないものを、ア～ウから一つえらんで、記号^(きごう)に○をつけましょう。
- ア ごみのことをしんけんに考えること
イ いつもきれいで新しいものを使うこと
ウ まずできることからはじめるること